

学童保育所の運営形態の方針は

矢加部 茂晴 議員

答 保育料等の統一も含め検討、最終方針決定を急ぐ

問 市長は今年3月議会で「学童保育所についてどのような運営形態がよいのか、平成28年度の予算要求までには決めたい」と答弁している。現在どのような協議を行い、方針はいつ頃決まるのか。

市長 基本方針の検討をしているが、近隣市の運営形態の状況をさらに研究し、決定しなければならぬ。現在各学童保育所で保育料や入所基準等が統一されておらず、こ

れらも含め検討し、最終方針の決定を急ぐ。

問 市全体の学童保育の水準を上げていくためにも、職員の処遇改善を図ることは喫緊の課題だ。

市長 近隣市の状況も勘案し、委託費の中で人件費相当分を示すことができるか検討したい。

人工内耳で聞こえを取り戻した子供たちのために

問 人工内耳（※）用の体外機器買い替え助成と電池代等の助成の考えは、福祉課長 5年を経過し



古川小学校校区学童保育所
「くすの木ハウス」

た人工内耳の体外部の交換には公費医療の適用がなく、福岡県の場合、助成制度として「日常生活用具」に指定されていないため自己負担が大きい。日常生活用具として認められるように県と協議を行う。電池代等の助成については今後検討する。

※聴覚（特に内耳）機能の障害でまったく聞こえなくなった人に、聞こえを取り戻すための医療で、機器を通じて会話を行えるようにするもの。

日清製粉工場跡地の現状と活用は

馬場 政英 議員

問 日清製粉(株)跡地（約5550坪）に関して現在市はどのような情報を持っているか。

市長 跡地利用については、定期的に本社の責任者や九州地区担当者連絡している。現段階では全て白紙の状態、売却

の方針も決まっていないことである。

問 将来の活用についてどう考えているのか。この土地は市の将来を見据える上で大きな展開が期待できる場所と思うが。

市長 環境的な条件から住宅地として利用される



大きな展開が期待できる日清製粉
筑後工場跡地（羽犬塚駅西側）

答 民間企業の開発に期待する

ことに期待しているが、開発については民間に委ねる。

建設経済部長 今までの計画でも、まずは羽犬塚駅西側の住宅地を増やし西側からの利用者増を図る。そして再度JR九州へ西側改札口について要望していくという段階で進めてきている。

羽犬塚駅についての認識は

問 今でも「羽犬塚駅は筑後市の玄関口」という認識に変わりはないか。

市長 筑後市の玄関口は羽犬塚駅だと思っているし、駅周辺の開発も「何とかせにゃいかん」という思いに変わりはなく、筑後船小屋駅は矢部川流域交通の玄関口だと思っている。